

## 就職講演会・名刺交換会 主催者挨拶

本日は、学情主催の「就職講演会・名刺交換会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

壇上から失礼とは存じますが、厚く御礼を申し上げます。

この就職講演会が平成元年・1989年から31年間一度も休むことなく、続けてこれましたのも、全国の大学キャリアセンターの先生方や多くのお取引先企業様のご支援の賜物と改めて心から御礼を申し上げます。

本年の当催しには、東京・名古屋・大阪・京都・福岡の5つの会場で、780大学のご関係者様ならびに約3,000社以上の企業様の参加の予定でございます。

31年前に初めて開催した時は東京・大阪で約100大学、企業様のご参加は約400社程度と記憶しており、おかげ様を持ちまして大発展を遂げさせていただくことができました。大変ありがたく、厚く御礼申し上げます。

さて、本題に移らせていただきますが、本年の就職・雇用関係では、3点の歴史的なニュースが4月から8月にかけて大々的に報道されました。

1点目は、「新卒一括採用から通年採用へ」というニュースです。経団連代表と大学の代表で合意した、と4月19日付けの日本経済新聞朝刊1面で大々的に報道されました。このニュースは一体何を意味しているのでしょうか？

数十年にわたり、主には大手企業を中心ではありますが、人材の採用は新卒の一括採用が圧倒的で、中途採用を嫌う傾向すら、永く続いておりました。

しかし、時代の変遷により、また、少子高齢化の影響を受け、企業は、必要な人材の量と質の確保に、苦労を重ねてきておりました。このような状況で経団連は、通年採用に方針を切り替え、新卒と若手キャリア採用の併用に方針転換を行ったのです。

学情では、15年前、関東のある大学の就職部の責任者の方より「既卒生の就職ナビを開設して欲しい」との要望を受け、現在の20代専門転職サイト「Re就活」をスタートさせ、今日に至っております。

さらに、2年前からは、今日の通年採用を予測し、新卒採用プラス20代のキャリア採用を市場に提案してまいりました。

さらに言わせていただきたいのは、20代キャリア採用の「Re就活」は、各種調査機関等の調査で、20代支持率ナンバー1、27.4%の支持を集め、他メディアを圧倒的に引き離しております。

何卒、通年採用では、学情の新卒向け「あさがくナビ」と20代転職サイトナンバー1の「Re就活」の活用をご検討くださいますようお願い申し上げます。

2点目は、グローバル人材の活用の件です。本年に入り、政府は、グローバル人材の活用の推進と従来からの方針から大きく方針の転換をいたしました。少子高齢化では将来の発展は望めず、グローバル人材の活用によって、日本の将来の発展にかける日本政府の意志を感じます。

学情では、本年7月より、グローバル人材の活用を目的にした就職ナビ「Japan Jobs」を事業化いたしました。ご活用をぜひご検討ください。

3点目は、同業のR社による「学生個人の就活情報の販売」問題です。8月2日、日本経済新聞・朝日新聞等で一斉に報道され、大きなニュースになっております。特に今回、問題なのは、学生の了解なしに、企業に内定辞退予測と称して、個人の就活情報が販売されていたことです。同業他社の発表によれば、約8,000名の就活情報を販売したとなっています。学生達はテレビやネットで一斉に不安や不信を述べています。

「政府の個人情報保護委員会が、8月26日、R社に対し、学生からの同意を得ず、企業に個人情報を販売したことが、個人情報保護法に違反していたと改善を勧告、管理体制の不備を問題視した」と朝日新聞、日本経済新聞をはじめ多数の新聞・テレビ・ネット等で一斉に報道されています。

学生達にとって、就活は一生を左右するものです。その個人情報が金銭で売買されるというのはあってはならないことです。

学情は創業以来43年間、個人情報の保持に全力を傾け、すべての経営課題の中で最優先に取り組んでまいりました。学情は個人情報取扱い適格企業の資格である「プライバシーマーク」において、就職情報業界での申請及び認可第1号企業であります。

ここで大学のキャリアセンターの先生方にごお願いがございます。

学情は43年間、無事故無違反の会社です。学生の皆さんには、コンプライアンス最優先で朝日新聞と学情が制作・運営している「あさがくナビ」を利用するようアドバイスをぜひしていただきたいのです。

企業の皆様へのごお願いもがございます。

「あさがくナビ」の掲載企業数が少ないと大学キャリアセンターのご助言をいただくことがあります。この場をお借りして、どうか企業の皆様、「あさがくナビ」のご活用をよろしくごお願い申し上げます。

最後になりましたが、大学関係者様、企業関係者様の一層のご発展とご成功をお祈り申し上げ、今回のお礼に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和元年9月  
株式会社学情  
代表取締役社長 中井清和